

予 算 要 求 資 料

令和5年度12月補正予算 支出科目 款：災害復旧費 項：災害関連事業費 目：災害関連事業費

事業名 河川災害関連事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 砂防課 災害対策係 電話番号：058-272-1111(内4657)

E-mail：c11653@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 36,020 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	36,020	17,400	0	0	0	0	220	15,900	2,500
決定額	36,020	17,400	0	0	0	0	220	15,900	2,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

8月の台風7号の影響により、美濃市千畝町地内を流れる一級河川余取川において、洪水によって河床が洗堀され、護岸が崩壊するなどの被害が発生した。当該箇所は河道幅が狭く、洪水時に溢水したことから原型復旧では、再度災害防止が図られないため、一連区間の河道幅を拡幅するなど、河川災害関連事業による計画を立案し、事業採択を受ける見込みがあるため、今年度の必要な予算を要求する。

(2) 事業内容

再度災害防止のため、被災箇所の復旧にあわせて未被災部分を含めた一連の構造物の強化、機能の向上を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：1／2 河川（河川等災害関連事業）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
災害関連事業費	36,020	工事請負費 15,000
		委託料 10,000
		用地補償費 10,000
		その他 1,020
合計	36,020	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 国・他県の状況

未被災区間を含む一連区間について再度災害防止を図れるため、国も推奨しており他県の事例も多い。

(3) 後年度の財政負担

国庫補助（1／2）

(4) 事業主体及びその妥当性

県が管理する河川施設及び、それに係る施設の改良に要する経費であり、施設管理者である県が実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
洪水により被災した、当該箇所を発災後2年以内で復旧する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 目標	R6年度 目標		終期目標 (R)	達成率
①河川災害関連事業 R5年災		50%	50%		100%	
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	洪水により被災した、当該箇所を復旧を推進することにより、地域の安全度の向上を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	国の指針では災害発生後3年以内で復旧することを目標としているが、早期復旧のため、2年以内での復旧を予定している。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	再度災害防止のため、被災箇所を復旧にあわせて未被災部分を含めた一連の構造物の強化、機能の向上を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 (特になし)

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 洪水により被災した、当該箇所を復旧を推進することにより、地域の安全度の向上を図るため、早期復旧に努める。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	